

【大目標Ⅳ】

ワーク・ライフ・バランスの推進

1 現状

◆結婚生活を送っていく上での不安 (H27県民意識調査)
(仕事と家庭の両立ができるかどうか不安に思っている割合)

・ 20歳代以下	40.4%	・ 40歳代	30.0%
・ 30歳代	38.3%	・ 50歳代	20.4%
		・ 60歳代以上	17.1%

◆子どもの数の理想と予定の乖離 (H27県民意識調査)
(理想と予定に乖離がある理由)

- 第1位 子育てや教育にお金がかかりすぎるから (65.6%)
第2位 長時間労働の増加などにより自分の生活に余裕がなく、仕事と家庭の両立が難しいから (19.9%)

◆生活の中での「仕事」「家庭生活」等の優先度 (H28県民意識調査)

項目	希望に 最も近いもの	現実(現状)に 最も近いもの	希望と現実(現状)の差 ※現実(現状)－希望
仕事を優先	4.5%	32.8%	28.3%
家庭生活を優先	19.6%	21.1%	1.5%
仕事と家庭生活をともに優先	37.2%	25.6%	▲11.6%
仕事と家庭生活と地域・ 個人の生活をともに優先	18.1%	5.6%	▲12.5%

「仕事を優先」することへの
希望と現実のギャップが大きい!!

2 課題

1. 企業等に対する取り組みの必要性の普及啓発
2. 具体的な取り組みの実践 (職場での環境整備の充実)

3 平成31年度の取り組み

①企業の取組の進度に応じた支援による働き方改革の推進

- 働き方改革の必要性の周知により意識を醸成
- 拡・商工会等との連携強化
- 拡・コーディネーターによる企業訪問
- 拡・働き方改革推進支援センターの機能強化
 - ・働き方改革推進キャンペーンの実施
 - ・働き方改革セミナーの実施
- 新・モデル優良事例集の作成・配布
- 新・労働環境等実態調査の実施
- 企業の課題発見、制度設計を支援
- 新・働き方改革マニュアルを活用した支援強化
- 新・働き方改革実践支援アドバイザーの派遣による企業支援
- 新・働き方改革推進職場リーダーの養成
- 先進的企業を増加させる・生産性向上に向けた支援
 - ・ワークライフバランス推進企業認証制度の普及拡大
- 新・モデル優良事例集の作成・配布【再掲】
 - ・働き方改革推進支援センターとの連携強化
- ロールモデルの横展開を図る
- 新・モデル優良事例集の作成・配布【再掲】
 - ・モデル優良事例の紹介 (県や業界団体の広報など)

②女性の活躍の視点に立った取り組みの推進

- ・働きやすい職場づくりに向けた企業へのアドバイス
- ・男女がともに働きやすい職場づくりセミナーの開催

③「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」による官民協働の
取り組みの推進

- ・「育児休暇・育児休業の取得促進」及び「時間単位年次有給休暇制度の導入支援」

④介護事業所等における代替職員の派遣

- ・福祉・介護職場において、職員の育児短時間勤務制度や、男性職員の育児休業等の子育て支援制度が利用される際に、必要となる代替職員を派遣。